


『春の気配』 寸評

- ・そこかしこに感じられる気配が花ひらくさま
- ・意表をつく pizz. のポツポツとした伴奏、arco への展開がより印象につよくなる
- ・Fl. の音域の利用のしかたがうまい
- ・二重奏の役割分担がよく工夫されてある
- ・タイトルがとてもわかりやすい

完成度をさらに上げるために

- ・ m.10 Fl. のスラーのかかりがあいまい
- ・ m.11 $\frac{6}{8}$ 拍子として  のほうが自然
- ・ m.9-10 pizz. の同音反復はあまり効果がよくない
分散和音等にして同一弦をはじきなおさせない方がよい
- ・ m.1-4 pizz. の余韻を意識させたいので、連結していない
16分音符の音価を八分音符でいどにしておきたい
- ・ m.8 b.4 Fl. 主和音に構成したい
- ・ m.13-15 Vn. であいのてをいれてみる



m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

シンプルな作品ではあるが、音遣いに
自分らしいひねりをもたせよう。

持庵 勉